

「8月6日に爆心地を通って」

～被爆者からのメッセージ～



日時 3月18日(日)

14:00~15:30

場所 東京教組会議室

(日本教育会館 2階)

お話 田戸サヨ子さん

参加費 無料

お問い合わせ 東京教組 03 5276 1311



今回の平和学習では

8月6日の当日に

爆心地の原爆ドームの辺りを

歩いて逃げたという

とても貴重な体験を

聞くことができます。

被爆体験を直接聞くことができる

最後の世代である私たちが

聞くべき大切なお話です。

被爆体験を語ってくださるのは

田戸サヨ子さんです。

14歳のとき

爆心地から3.5kmの

女学校で被爆しました。

1人でも多くの方に

聞いていただきたいお話です。

どなたでも参加できます。

ぜひご参加ください。

田戸サヨ子さんの体験記より(抜粋)

「多くの級友が怪我をした中で、私ともう一人の友人と二人だけ無傷だった。怪我をした友人を県病院に連れていき、自宅まで届けて、帰宅を急いだが、御幸橋まで来てそこから先は燃えていた。橋の上で何時間待ったか、やっと通れるようになり、まだ両側が燃えている中を、電車道を必死で歩いた。

私は家に帰りたい。母のことが心配で、その日のうちに誰も通っていない紙屋町から相生橋に向けて、折り重なる死体や散乱している物をよけながら相生橋までたどり着いた。何と360度ぐると見渡せる程建物は何もなかった。もうだめだ、私の家も焼けている。橋の上に座り込んで暫く友人と泣いていた。」

(国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の『体験記を読む』より)